



## 札幌部会(第23回)

日時: 2020年9月27日(日) 15:00 - 17:00

場所: ZoomによるWeb会議

参加者: 20名参加

### 【内容要旨】

- 冒頭、篠原代表から、今回発表していただく2つの授業案の位置づけについて、つぎのような紹介があった。
  - 先生方が独自の授業案をつくるのは、「教科書を教える」授業はもとより、「教科書で教える」授業でも、生徒に社会のコトを伝えられないから。
  - 本日発表していただく2つの極めて質の高い授業モデルは、授業の作り方という意味で、全く逆をいくものである。(授業づくりの2つの手法)
  - 河原授業案は、教科書から完全に離れたもの。生徒がなるほどと思えるトピック(授業のネタ)を用意し、そのネタを巡って教師と生徒の間の対話を通して、その対話の中に教科書にでてくる知識、概念、考え方を織り込みながら、生徒に教えるべき結論とそこへ至る考え方に気づかせていく、という手法である。
  - それに対して新井授業案は、あくまで教科書に出てくる内容に沿いながら、裏にある複雑な理論を分かりやすい形に変え、生徒に知識、概念、考え方を伝えていく、という教え方の正攻法を踏む。生徒の知的理解力を引き出しながら、複雑な経済のコトを生き活きと再現して見せるという手法である。
  - 本日は、そのような目で2つの授業案を頂きたい。
- 河原和之先生(立命館大学ほか)から、「教材発掘から授業構成へのデザイン」として、「コロナ差別」と「消えた天気予報」を題材とした授業紹介が行われた。その後の質疑応答では、①コロナ禍の構図としてのAからE層の階層の分け方や永井荷風の階層分類理由についての問いかけと、②河原型実践における評価とテストの在り方についての問いかけがあった。①については保阪正康氏の論考の引用であること、②については思考判断の要素としてパフォーマンス課題10点分を入れ、根拠を示して論述する形式の問題を入れ、これに加えて知識の暗記も徹底してやるようにしているという説明があった。教材とテストをセットで示せば良いが、現場から離れて10年経つので、テストについては手元に残っていないとのことであった。
- 新井明先生(目白大学・筑波大学附属中非常勤講師)から、「70歳、中学生に経済を教える」の報告が行われた。これは新井先生のこれまでの教材や方法の棚卸しをし、ストレートに経済学の発想を中学生につなげてみようという試みである。報告後には、新井先生の実践してきた『レモンをお金にかえる法』や『世の中なんでも経済学』を用いた伝統的経済教育からの今後の変化や、需要・供給曲線の導出において中学生には供給曲線の導出は難しいということ、シフト問題は教科書に掲載されるので高校入試で出ている側面があるので無くしてもいいのではといったことなどについて意見交換が行われた。



※今回の河原型実践と新井型実践の比較ということについて、新井先生からは「河原型は教材が完全にオリジナルであり、新井型はオーソドックスで古典的な実践」というコメントがあった。一方、河原先生からは「新井先生が作成に携わった『世の経』の大阪版を岩田年浩先生らと作ったが、新井先生の『世の経』と比べると概念形成が弱かった。大阪版は現象から入っているので切り口は面白いけれど、今はもう使えない」というコメントがあった。この両者のコメントにより、両者の実践の特徴がまとめられた。

4. 中沖栄氏(清水書院)から、新教材の作成と試行授業への協力依頼が行われた。内容は教材に対する意見収集と、教材を用いた模擬授業の依頼である。学習者にとって社会的課題の重要性が判断できるものであって欲しいという意見に対して、できるだけ身近な社会問題を普遍化できるものになるよう配慮したいとの回答があった。

(まとめ)

今回の内容は、経済教育を中心に社会科教育実践史に名を残したお2人の発表という贅沢な内容であった。このように東京と大阪を結んで部会を開くことができるのは、Web会議の有効な点である。

[文責:山崎辰也]

<input type="checkbox"/> テスト問題 (新テストなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 中学	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 指導案	<input type="checkbox"/> 新聞教材(NIE)
--	--	--	------------------------------	------------------------------------

次回開催予定: 11月14日(土) 15:00~17:00

ZoomによるWeb会議

議題 北海道に即した経済教育教材、経済学の知見を踏まえた授業案の交流など